



大幅続落し、下げ幅が一時4700円を超えた日経平均株価を示すモニター。米株式相場の大暴落「ブラックマンデー」翌日の下げ幅を超えて史上最大となった
 = 5日午後、東京・東新橋

東証、下げ幅史上最大

4451円安、ブラックマンデー超え

週明け5日の東京株式市場で日経平均株価（225種）は大幅続落した。前週末比の終値の下げ幅は4451円28銭となり、1987年の米国株式相場の大暴落「ブラックマンデー」翌日に記録した3836円を超え、史上最大となった。終値は3万1458円42銭で年初来安値を更新。前週末2日に米国株式市場が大幅安となった流れを引き継いだ。

米景気減速への懸念が強まり、東京外国為替市場で円相場が一時1ドル＝142円台まで上昇して約7カ月ぶりの円高ドル安水準となったことも重荷となった。平均株価の下げ

幅は一時4700円を超えた。株式市場の急落を受け、大阪取引所は5日午前9時16分から約10分間、東証株価指数（TOPIX）の先物売買を一時中断する「サーキットブレーカー」を発動した。投資家の混乱を避けるための措置で、同先物での発動は東日本大震災後の2011年3月15日以来。日経平均株価の先物で

も午後発動された。TOPIXの終値は310.45ポイント安の2227.15だった。平均株価は7月11日に終値で史上最高値の4万2200円台を付けたが、その後は下落基調となっている。前週末2日には前日比2216円安で取引を終え、ブラックマンデーの翌日に次ぐ史上2番目の下げ幅を記録したばかりだった。



発行所
山形新聞社
 〒990-8550
 山形市旅籠町2-5-12
 総合案内 023(622)5271
 読者センター 023(622)5666
 (平日9時00分～17時00分)
 (c)山形新聞社2024

2024年
 8月5日
 <月曜日>

電子
 速報版



特別号外
 ■やまがた
 ニュースオンライン
yamagata-np.jp

詳しくは山形新聞をご覧ください。

購読・試読の
 お申し込みは
 フリーダイヤル
 0120-81-8040